

電子版「ねんきん定期便」が開始されました

電子版「ねんきん定期便」

日本年金機構では、すべての年金加入者（約6600万人）を対象に、毎年誕生月に「ねんきん定期便」を郵送しています。この「ねんきん定期便」が、日本年金機構のインターネットサービスである「ねんきんネット」によって確認できるようになりました。

電子版「ねんきん定期便」のメリット

年金記録は毎月更新されています。しかし、郵送による「ねんきん定期便」では、年1回のみの通知であるため、この毎月更新されている年金記録を確認することはできません。電子版「ねんきん定期便」では、最新の年金記録を24時間いつでも確認することができます。

ていませ。電子版「ねんきん定期便」では、すべての期間の年金記録が確認できます。さらに、確認した内容を残しておきたい方は、いつでもダウンロードして手元に保存しておくことができます。

電子版「ねんきん定期便」を利用するには

電子版「ねんきん定期便」を利用するためには、日本年金機構のホームページで「ねんきんネット」の利用登録をして専用のユーザIDを入力する必要がある。ユーザIDの入手方法は次のとおりです。

- ①はじめて利用申込みをする場合
（アクセスキーを持っていない場合）
登録後、約5日程度でユーザIDが手元に郵送されます。
- ②「年金個人情報提供サービス」
（平成23年2月まで）を利用していただくことがある場合
「年金個人情報提供サービス」は、平成23年3月からは「ねんきんネット」に統合されています。

「ねんきん定期便」のログイン画面に「年金個人情報提供サービス」で利用していたユーザIDとお客様設定パスワードを入力すると、「ねんきんネット」用の新たなユーザIDが即座に発行されるので、すぐに利用開始できます。お客様設定パスワードはそのまま使用できます。

誕生月にお知らせが届きます

電子版「ねんきん定期便」を利用すると、誕生月に「ねんきん定期便」や「振込通知書」などのお知らせが、利用登録しているメールアドレスあてに配信されてきます。

電子版「ねんきん定期便」の確認

電子版「ねんきん定期便」には、50歳以上の入用、50歳未満の入用

そして年金受給者であり現役被保険者の入用の3種類があります。

電子版「ねんきん定期便」に加入記録の記載もれや記載内容の誤りがないかをよく確認します。記載もれや記載内容の誤りがあつた場合には、「年金加入記録回答書」を印刷し、必要事項を記入して回答します。

記載もれや記載内容の誤りがない場合には、「回答書」で回答する必要があります。

「ねんきん定期便」の郵送希望登録

書面による「ねんきん定期便」の郵送に代えて、電子版の「ねんきん定期便」を利用することで、郵送費などのコスト削減や資源の節約につながります。書面による「ねんきん定期便」の郵送を今後も希望するかどうか、ログイン後の画面で希望を登録することができます。

なお、書面による「ねんきん定期便」の郵送を希望しても、後で変更することもできます。

また、郵送を「希望しない」と登録した場合でも、35歳、45歳、58歳の節目の年齢には、書面による「ねんきん定期便」は郵送されます。

まちづくり日記

No.41

『ヤツカイなドーナツ』

仙北市長
門脇 光浩

残念。毎日でも食べたいドーナツのことではありません。空洞化を表すドーナツ現象のお話です。

「農山村再生」（小田切徳美著・岩波ブックレット）を読んだら、今の農山村は複数のドーナツ問題を抱えているとありました。一番の空洞化は「人」そして「土地」さらには「誇り」と続きます。

人の空洞化は、皆さん実感の通りだし、土地の空洞化は耕作放棄、林地荒廃など思いつきます。そして誇りの空洞化…。なるほど、こいつはヤツカイなドーナツです。

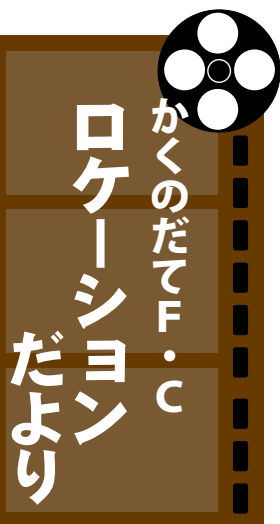
著者の分析を紹介すると、地域住民が、そこに住み続ける意味や誇りを見失っているのではないか、人口流出の要因は、所得格差の解消と働き場所の確保と云うより、もっと根深くて精神的に由来するものが崩れてしまったのではないか、こんな指摘です。もし仮に地域の子とも達が、「農山村は離れた場所、貧しい場所、大きくなったら離れる場所」みたいに思っていたら、または周囲の

大人がそんな種を蒔いているとしたら…。農山村は衰退を続け、早晚滅亡を免れません。

そこで著者は、解決策の一つとして「コミュニティと地域産業つなぐ」を提案しています。「まずは「ミニティ」（地域社会）を再生すること。そして第一次産業や生業を大切に新たな仕事づくりを進め、命と暮らしを守り、柔軟に情報発信を継続すること」と述べています。同感です。

先日、農作業中のおじいさんが「あと何回コメづくりができるかなあ」と笑っていました。今を無策で過ごせば、田植えや稲刈りなど、農村のありふれた風景すら消えてしまします。「国が悪い、市が悪い」と、文句を言っているだけでは、何も解決できません。

先日、タバコを吸っていたら「喫煙はゆるやかな自殺行為ですよ」と諭してくれる人がいました。自分も「コミュニティ再生に無関心な方がいたら、人任せは明らかに自滅行為ですよ」とお話ししています。



秋田県羽後町出身の演歌歌手、岩本公水（いわもとくみ）さんの新曲「こまぐさ帰行」のプロモーションビデオの撮影が5月21日、22日に行われました。撮影が行われた場所は、水沢温泉郷「サポールカルチャーパーク」、田沢湖畔、武家屋敷「岩橋家」、「河原田家」、内陸線「松葉駅」、角館公民館です。

撮影が行われた両日は天候に恵まれ、青空に起立した秋田駒ヶ岳や澄んだ空気の中の武家屋敷、新緑が目眩しくなった松葉駅など、新曲イメージにあった箇所で行われ、武家屋敷では観光客の皆さんが見学に来る前の早朝に行われました。

本市での撮影については、曲タイトルにある「こまぐさ」にちなみ、大群落のある秋田駒ヶ岳の麓、仙北市ということ

から今回の撮影と撮影となりました。また、岩本さんがプロデビュー前、JRの「特急こまぐさ」に乗りしてレッスンに通ったというエピソードも絡んでいるとの裏話も聞きました。

雄大な自然や静寂の武家屋敷にたまたま岩本さんと新曲がプロモーションビデオの中でどのように構成されるのかと考えると、早く作品が見てみたいという気持ちが強くなってきました。